

## 令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜盲学校

学校番号	101
------	-----

### 自己評価

学校教育目標	障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、互いに助け合い、明朗で、たくましく生きる力を身に付け、社会に貢献する児童生徒を育成する。
--------	--

評価する領域・分野	学習研修部「研究・研修」
現状及びアンケートの結果分析等	<p><b>【アンケート結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校の先生は、専門的知識が豊かで教師としての資質を身につけている」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が79%、「わからない」が16%。</li> <li>・「学校の先生は、専門性を深めるために積極的に研修などに参加している」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が74%、「わからない」が26%。</li> </ul> <p><b>【結果分析】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の専門的知識について、豊かだという回答が多い。</li> <li>・職員の研修参加状況について、わからないという回答が多い。</li> </ul>
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 専門性の維持・向上。</li> <li>② 研修参加状況の周知。</li> </ol>
重点目標を達成するための校内組織体制	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学習研修部、コア・スクール推進委員会</li> <li>② 学習研修部、教務情報部</li> </ol>
目標の達成に必要な具体的取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 岐阜県総合教育センター研修、職員研修（講演）、新転任者研修、校内研修、校外研修、コア・スクール、紀要作成。</li> <li>② 研修参加状況を、当校ホームページに掲載。</li> </ol>
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 職員の参加状況やアンケート結果、児童生徒の姿や評価アンケート結果、スーパーバイザーの指導助言（コア・スクール）</li> <li>② 評価アンケート結果</li> </ol>
取組状況・実践内容等	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 令和5年度 当校職員が受講した主な研修             <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 岐阜県総合教育センター研修…初任者研修、6年目研修、中堅教諭等資質向上研修、新任教頭研修、特別支援学校寄宿舎指導員研修、研修主事研修、県立学校情報管理担当者研修、県立学校ICT活用担当者研修、学校保健講習会、栄養教諭・学校栄養職員研修会、事例を通して学ぶいじめ事案対応研修、教育相談実践研究会、重点講話（いのちの教育、人権教育）、教科指導基礎力向上講座（高：国語、音楽）、授業改善講座（高：国語、音楽）、発達障がいのある子の性教育、ICT活用と読み書きに困難のある子どもの学び、発達障がいのある子の「見る力」に対する指導 等</li> <li>(イ) 職員研修                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「盲学校の自立活動の実際 一点字と歩行を中心に」講師：牟田口辰己 氏（元広島大学） ※R6年度に延期</li> <li>② 「岐阜県立岐阜盲学校に多い眼疾患とその病態～眼の発生時期とその異常～」講師：野原尚美 氏（平成医療短期大学 教授）</li> </ol> </li> <li>(ウ) 新転任者研修…点字、歩行、触察、拡大読書器、パソコン、立体コピー、岐阜アソシア見学、弱視教育。</li> <li>(エ) 校内研修…グループ研究（小学部・中学部・普通科・理療科・寄宿</li> </ul> </li> </ol>

	<p>舎)、教科研究、領域研究。</p> <p>(オ) 校外研修…視覚障害教科教育研究会、全日本盲学校教育研究会、全国視覚障害早期教育研究会、視覚障がい乳幼児研究大会、岐阜県特別支援学校教育研究会、弱視教育研究全国大会、はごろも「夢」講演会(静岡県立浜松視覚特別支援学校主催)、「弱視児の読み書きの指導」に関するオンライン研修(北海道札幌視覚支援学校主催)等。</p> <p>(カ) コア・スクール…コア・ティーチャー研修領域(視覚障がい指導法)、コア・スクール推進委員会(全3回)、コア・スクール報告会</p> <p>(キ) 紀要作成…紀要「点と筆と」第52号の作成、他機関への発送。</p> <p>② 当校ホームページの「研究」「コア・スクール」「研修」を更新。研修に関するトピックの掲載。</p>
評価の視点	評価
① 視覚障がい教育の専門性を維持・向上できたか。	A B C D
② コア・スクールの学びを、職員へ還元できたか。	A B C D
③ 職員が参加した研修について、児童・生徒・保護者へ周知できたか。	A B C D
成果・課題	総合評価
<p>○研修の多くがオンライン型やオンデマンド型へ変更になったことで、多数の職員が研修に参加できた。</p> <p>▲コア・スクールの取組を他の研究・研修等と関連付け、より効果的に職員に還元できるような体制作りに努める。</p>	A B C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革における、研修内容や在り方、研究体制作りを検討する。</li> <li>・当校ホームページに「研修」が掲載されていることを、児童生徒・保護者へ周知する。</li> </ul>

**学校関係者評価** (令和5年6月22日、同年11月3日、令和6年1月31日実施)

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートの結果を受け、職員の研修参加状況について、引き続きホームページに掲載(内容を更新)した。</li> </ul>
---